

TOPICS & INFORMATION

2020-2021 JPBA最終ランキング

姫路麗が“2期連続”4度目の3冠女王に!



▶左 山本 勲 右 姫路麗

コロナ禍で2年くりとなった2020-2021 JPBAレギュラーツアーは、第53回全日本女子プロ選手権(12月17~19日、東大和グランドボウル)をもって全日程を終了し、ポイント・アベレージ・獲得賞金3部門のランキングが確定した。女子は20年3勝、21年5勝とハイペースで優勝を積み重ね、歴代単独6位となる通算

30勝に到達した**姫路麗**が3部門とも断トツの記録で“2期連続”4度目(実質的には3年連続5度目)の3冠女王に輝いた。20年3勝の**坂本かや**が3部門で2位に続き、20年の女子プロオールスターゲームで悲願の初タイトルを獲得した**丹羽由香梨**がポイント、獲得賞金の2部門で3位。アベレージ部門は、優勝こそ果たせな

かったものの、コンスタントに上位入賞を果たした**霜出佳奈**が、210.04で3位に食い込んだ。ちなみにそのアベレージ部門では、最終戦の全日本で35G8064(230.40AVG)を打った**姫路**が219.95まで数字を上げ、男子1位の**山本勲**(219.21AVG)をも上回った。姫路は「男子のトップが220以下のアベレージになることはまずないので、今期だけのチャンスだと(山本超えを)狙っていました。結果、上回ることができたのは最高のご褒美です」と、全日本の試合後会見で声を弾ませた。男子は最終戦の全日本を制した**山本**が、それまでトップを走っていた**永野すばる**(20年3勝)を逆転してポイントランキング1位に。アベ

レージ部門と合わせて2冠に輝いた(獲得賞金は2位)。永野は獲得賞金の1冠に終わり、ポイント、アベレージは2位。両部門の3位には新設大会「JPBAプレイヤーズドリームマッチ」で永久シード権獲得の**V20**に到達した**川添奨太**が続き、獲得賞金3位には**藤井信人**が名を連ねた。男女の最終ポイントランキング(上位各20名)は別表のとおり。なおコロナ禍の特例で、2022シーズンは女子の第1シード枠が18名→24名に、第2シード枠も24名(ランキング25位~48位)に拡大される。

2020-21 JPBA最終ポイントランキング

●男子				
順位	氏名(期別)	ポイント	アベレージ	獲得賞金(円)
1	山本 勲(44)	4,412	219.21	5,466,100
2	永野すばる(40)	4,221	215.90	8,530,500
3	川添 奨太(49)	3,750	214.66	3,734,600
4	藤井 信人(52)	3,080	212.94	3,870,500
5	谷合 貴志(52)	2,504	209.64	2,576,000
6	和田 秀和(48)	2,492	211.49	1,643,800
7	森本 健太(51)	2,458	209.92	2,117,200
8	渡邊 雄也(52)	2,235	207.30	1,983,800
9	高田 浩規(52)	2,205	210.51	1,554,400
10	小林 哲也(48)	1,908	207.39	1,463,900
11	安里 秀策(59)	1,864	215.18	1,892,900
12	加藤 祐哉(43)	1,843	202.47	2,086,000
13	斉藤 祐哉(49)	1,812	210.85	1,541,200
14	甘糟 翔太(54)	1,792	209.92	1,215,200
15	志摩竜太郎(55)	1,691	204.00	3,853,500
16	山下 昌吾(44)	1,679	205.08	1,251,000
17	水野 耕佑(56)	1,669	208.05	2,329,100
18	佐藤 賢啓(57)	1,587	208.30	1,246,000
19	小原 照之(32)	1,584	209.69	1,126,000
20	渡邊 航明(49)	1,572	207.38	710,000

●女子				
順位	氏名(期別)	ポイント	アベレージ	獲得賞金(円)
1	姫路 麗(33)	8,430	219.95	16,084,000
2	坂本 かや(49)	4,929	213.21	6,616,000
3	丹羽由香梨(35)	3,957	208.54	3,999,000
4	霜出 佳奈(50)	3,622	210.04	3,176,000
5	本間由佳梨(46)	3,428	208.27	2,649,000
6	松永 裕美(37)	3,288	209.79	3,482,000
7	佐藤まさみ(42)	2,848	209.47	2,607,000
8	中島 瑞葵(53)	2,480	211.20	3,150,000
9	久保田彩花(48)	2,423	207.47	2,218,000
10	寺下 智香(47)	2,321	206.24	2,094,000
11	川崎 由恵(48)	2,269	208.41	2,563,000
12	小林よしみ(43)	2,145	204.08	3,037,000
13	大嶋 有香(49)	2,083	204.13	2,355,000
14	小久保実希(47)	1,996	207.54	1,725,000
15	小池 沙紀(49)	1,919	207.31	1,641,000
16	板倉奈智美(36)	1,748	204.91	1,150,000
17	浅田 梨奈(48)	1,695	204.73	1,398,000
18	岸田 有加(43)	1,550	204.96	1,100,000
19	中谷 優子(28)	1,549	203.20	1,288,000
20	越智 真南(51)	1,459	208.27	1,365,000

「キッズボウリング動画選手権」開催中!

(公社)日本ボウリング場協会は現在、大塚製薬の特別協賛を得て「オロナミンC杯 キッズボウリング動画選手権」と銘打ち、0歳~小学校6年生までのキッズがボウリングに興じている姿を撮影し、SNSに投稿してもらうという動画コンテストを開催している。

参加方法は①おうちボウリング部門②ボウリング場部門③初めてのボウリング部門のいずれかに沿った内容の動画を撮影し、「#ボウリング動画選手権」のハッシュタグを付けてInstagramに投稿。部門別に審査が実施され、各部門の最優秀作にはキャンペーンサイト及び全

国の日場協加盟センターで放映されるボウリングCMへのメイン出演権が与えられるほか、ゲーム無料券やオロナミンCが贈呈される。応募期間は2月22日(月)まで。なお、詳細は日場協公式ホームページのキャンペーン専用サイトにてご確認ください。

公式キャラクター「ピンすけ」LINEスタンプ第3弾が発売中!

日本ボウリング公式キャラクター/KUWATA CUP公式キャラクター「ピンすけ」のLINEスタンプの第3弾が発売中だ。今回はピンすけの仲間「ピンこ」が初登場! 専用Webからダウンロードして、ぜひご利用ください。



▶「キッズボウリング動画選手権」専用サイトのトップページ

《お詫びと訂正》本紙先月号3面の記事で「姫路は3週前の千葉オープン女子に続く2連勝&大会2連覇で、通算勝利数を歴代4位タイの27とした」とあるのは誤りで、27勝時点では「歴代7位タイ」でした。30勝に到達した現在は齊藤志乃が(74勝)、故・須田開代子(43勝)、並木恵美子(36勝)、時本美津子(35勝)、中山律子(33勝)に次ぐ歴代6位となります。以上、お詫びして訂正いたします。(編集部)

トーナメントカレンダー		
開催日	大会名	開催センター
《アマチュア》		
1月21日(金)~23日(日)	JBC第50回全日本クラブ対抗選手権	MKボウル上賀茂(京都)
1月28日(金)~30日(日)	JBC第39回全日本実業団都市対抗選手権	川崎グランドボウル(神奈川)

最新の技術、豊富な経験を持つ
ドリラー6名在籍

JR横浜線・相模原駅徒歩2分
相模原パークレーンズ
<http://parklanes.jp/> TEL. 042-755-1110

オンラインショップのパイオニア 今すぐアクセス